

安全作業手順書【花壇整備】

		見積もり基準をした危険性の評価			
		重大性(B)	○ 軽微 (不休と休業3日以内)	△ 重大 (休業4日以上)	× 極めて重大 (死亡・障害が残る)
可能性(A)	○ ほとんど起こらない (5年に1回程度)	○○ (極めて小さい)	○△ (かなり小さい)	○× (中程度)	
	△ たまに起こる (1年に1回程度)	△○ (かなり小さい)	△△ (中程度)	△× (かなり大きい)	
	× かなり起こる (6ヶ月に1回程度)	×○ (中程度)	×△ (かなり大きい)	×× (極めて重大)	

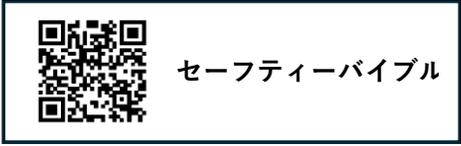
危険性又は、有害性の評価と危険度の判定基準例			
危険性の見積もり	危険性の評価	危険度	判定
××	極めて重大	5	即座に対策が必要
×△、△×	かなり大きい	4	根本的対策が必要
×○、○△、○×	中程度	3	何らかの対策が必要 現時点では必要なし (慎重な対応)
△○、○△	かなり小さい	2	対策の必要なし
○○	極めて小さい	1	対策の必要なし

作成日・ 改正日	2024/4/1 (前回改正：2023/4/1)	現場名	東名高速道路（豊田IC～春日井IC）
機器工具 ・車両	鎌、スコップ、ごみばさみ、プロアー ホウキ、塵取り、てみ、	保護具	ゴム手袋、軍手、安全チョッキ 安全ぐつ、安全長ぐつ、ヘルメット

作業区分	作業手順・作業内容	急所	危険ポイント		リスクの見積り			安全対策（危険度2以下へ）			リスクの再見積り		
			（～なので～になる）		(A)	(B)	リスク	（私達はどのようにする）			(A)	(B)	リスク

準備工	作業確認 作業の打合せ(KY)を行なう 作業員の役割（運転手、助手）を決める 作業場所及び車線を確認する 交通規制状況を確認する しらすだーの動作確認及び点検を行う	作業員全員で 免許証・免許区分の確認を運転手・助手の二人で行って 上下、kp等の情報を踏まえ、作業員全員が理解できるように 必ず当日の規制簿を使用して 朝礼時に作業員全員で毎日動作確認をする	手順を間違えて思わぬケガをする 免許区分の理解不足で、無免許運転をしてしまう / / 電池切れて緊急時、逃げるのが遅れる ブランター横込み時に棚が倒れる	△ ○ / / △ ○	× × / / × ×	4 3 / / 4 3	全員で手順書、KYの内容を周知する 乗車時に必ず免許区分明示車両ｽﾀﾝﾀﾞｰを確認する / / 毎日動作確認をし、電池が減ったら交換する 棚の固定を確認する	○ ○ / / ○ ○	○ △ / / ○ ○	1 2 / / 1 1
-----	---	---	---	----------------------------	----------------------------	----------------------------	---	----------------------------	----------------------------	----------------------------

横込み作業	花を横込む	花を傷つけないよう		○	×	3		○	○	1
車両確認										
作業車両準備										
作業車両点検										
出発準備										
出発										
規制内進入										
車両移動										
停止										
逸走防止										



25.車両回送手順書に則る

準備作業	車両から必要機材を降ろす 植えられている古い花を撤去する	①手袋などを着用して ②手・指が挟まれに気をつける。声かけ、合図をして 古い花の根を残さないように	①荷台から飛び降りて怪我をする ②手・指が挟まれて怪我をする 撤去中、休憩施設内の歩行者と接触する 鎌で手を切る	△ △ △ △	△ △ △ △	3 3 3	無理な搬出はせず、サイドカバー・タイヤ等安全な足場から 車両に正対して昇降する。飛び降りない。 必ず現場保安員を配置し作業区域をラバコンで囲う 切創用手袋を着用し手元をよく確認して鎌を使用する	○ ○ ○	△ ○ ○	2 1 1
花の植え付け	花を植えつける	株もとをしっかりと押さえ	/	/	/	/	/	/	/	/
灌水作業	たっぷり灌水する	ブランターの底から水が出てくるのを目処に	散水ホースが外れて歩行者に水が飛散する	△	△	3	使用前に接続部を確認してから散水する	○	○	1
横込み作業	撤去した花や、道具を車両に横込む	歩行者や車両に注意しながら	荷台でつまづいて転倒する	△	△	3	荷台は整理整頓しておく	○	○	1
仕上げ	清掃状況を確認する	歩行者や車両に注意しながら	/	/	/	/	/	/	/	/
現場離脱 及び 帰着 駐車			25.車両回送手順書に則る 25.車両回送手順書に則る							
後処理	運転日報・車両使用日報を作成する	責任者への報告・確認も忘れずに	/	/	/	/	/	/	/	/

原則1人作業はしない。やむ終えず1人作業をする場合は現地にてKYを実施し、作業員同士目のつく範囲内で作業を行う。尚且つもしもの時の連絡体制を事前に構築しておく。

1人作業	原則1人作業はしない。やむ終えず1人作業をする場合は現地にてKYを実施し、作業員同士目のつく範囲内で作業を行う。尚且つもしもの時の連絡体制を事前に構築しておく。									
特記	パワーゲートを使用した荷台積み下ろし	①パワーゲートを昇降させるときは必ず声を掛け合図を行い、手・足が挟まれないことを確認し安全を確保してから昇降させる。 ②バルーン等のタイヤロックを外す時は、必ず声を掛け合図を行い、保持を確認して安全を確保してからロックを外すこと	声掛け合図を怠り、積載物またはゲートに手足をはさまれて怪我をする	○	×	3	パワーゲートを使用する際は必ず2人以上で作業をし、ゲートの昇降をする場合は声を掛け合い挟まれないように安全を確保してから昇降させる。	○	○	1
台車を使用する場合	台車を使い小運搬を行う時は、台車の逸走による車両等への接触に注意すること	台車は自動ストッパー機能付とする	台車から離れた瞬間に台車が逸走し走行車両と接触する	△	△	3	使用しない時は裏向きにし、Gr外側など走行車両から遠い位置に仮置き。強風の場合はウェイトを置く。	○	○	1

特記	パワーゲートを使用した荷台積み下ろし	①パワーゲートを昇降させるときは必ず声を掛け合図を行い、手・足が挟まれないことを確認し安全を確保してから昇降させる。 ②バルーン等のタイヤロックを外す時は、必ず声を掛け合図を行い、保持を確認して安全を確保してからロックを外すこと	声掛け合図を怠り、積載物またはゲートに手足をはさまれて怪我をする	○	×	3	パワーゲートを使用する際は必ず2人以上で作業をし、ゲートの昇降をする場合は声を掛け合い挟まれないように安全を確保してから昇降させる。	○	○	1
台車を使用する場合	台車を使い小運搬を行う時は、台車の逸走による車両等への接触に注意すること	台車は自動ストッパー機能付とする	台車から離れた瞬間に台車が逸走し走行車両と接触する	△	△	3	使用しない時は裏向きにし、Gr外側など走行車両から遠い位置に仮置き。強風の場合はウェイトを置く。	○	○	1